

大牟田市立宅峰中学校

1 本校のESDの特徴

本校では、問題解決力、体系的な思考力（問題や現象の背景の理解、多面的・総合的なものの見方）を育てることをねらいとし、総合的な学習の時間の「学びの旅」や生徒会活動の取り組みを通して、持続可能な発展に関する価値観（人間の尊重、多様性の尊重、非排他性等）を見いだす力を身につけるようにしている。

また、各教科、道徳の時間、特別活動を通して、考え方や立場の違いを尊重しながら協働的に課題を解決したり、より良い人間関係をつくり出す力を身につけさせたい。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

	単 元 名	具体的な活動内容
1年	「誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくりについて考える」	<ul style="list-style-type: none"> ・大牟田の福祉関係者からの講話。 ・認知症の絵本教室。 ・声かけ寸劇を校区の民生委員などに発表 ・福祉に関わるひと・もの・ことの取材やミニ体験。 ・FMたんとで取り組みを発信する。
2年	「働くことの意義を学ぶ地域職場体験」 「異文化の伝統や文化を知る」	<ul style="list-style-type: none"> ・40の事業所に体験活動を行い、学んだことをまとめ発表。 ・大牟田と京都の産業・歴史・文化の違いを調べ、修学旅行での自主研修や他の見学体験からそれぞれの地域の良さをまとめる。
3年	「幼児とのふれあい体験」	<ul style="list-style-type: none"> ・幼児とのふれあい体験活動を行い、思いやりの心を育て、発表する。 ・生命尊重と命の大切さについて考える。

3 特徴的な活動事例

＜テーマ：誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくりについて考える（1年生）＞

【具体的な取り組み】

①全体像の把握

- ・6/30（木）学習のオリエンテーション
- ・7/7（木）大牟田の福祉の取り組みの全体について
内野さん講演〔地域福祉推進室〕

②高齢者にかかわって

- ・7/14（木）SOSネットワークの取り組みについて
倉光さん講演〔長寿社会推進課〕

③まちの環境になどにかかわって

- ・9/29（木）バリアフリー、ユニバーサルデザインについて
長宗我部真裕さん講演〔建築住宅課〕
- ・10/6（木）よかもん商店街の取り組みについて
松永さん講演〔メガネの松永〕

④高齢者にかかわって

- ・10/20（木）絵本教室



【声かけ寸劇】

- ・ 10 / 27 (木)、11 / 10 (木) 声かけ寸劇づくり
- ・ 11 / 14 (木) 校区の民生委員・児童委員さんたちに声かけ寸劇発表

⑤障がい者にかかわって

- ・ 12 / 1 (木) 障がい者が暮らす施設で働いて
山口由希子さん講演 [大牟田恵愛園]
- ・ 12 / 16 (金) 障害を持つ人も安心して暮らせるために
大場和正さん講演 [市議員]
- ・ 1 / 12 (木) 企業の取り組み
玉崎亮子さん講演 [信号電材]



【声かけ寸劇】

⑥子どもにかかわって

- ・ 1 / 19 (木) 子育てにかかわって
堺理衣さん、浦上真希さん講演 [保健師]、桑原児童家庭課長講演

⑦取材とミニ体験

- ・ 1 / 24 (火) 大牟田の福祉にかかわるひと・もの・ことを取材する。
班を単位に訪問し取材する (30施設)。お礼状書きとまとめをする。

⑧まとめ

- ・ 1 / 26 (木) 誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくり
椿原恵さん講演 [社会福祉協議会]
- ・ 1 ~ 2月 FMたんとで取り組みを6回シリーズで発信
- ・ 2月 1年間のまとめと発表にむけて
- ・ 3月 発表会



【子育てにかかわって】

4 成果と課題

○成果

- ・ 1年生は1年間を通して、「誰もが安心して暮らせる大牟田のまちづくり」をめざして学習した。高齢者、障がい者、乳幼児、まちの環境といった視点から、地域の専門家に話を聞き、理解を深めることができた。絵本教室でのグループワークでは認知症の方に出会ったら何をしたらよいか自分たちに何ができるかを模造紙にまとめ発表した。
- ・ 右上の写真は、寸劇発表会である。絵本教室をもとに、まちやお店など様々な場面で認知症の方に出会ったときの対応をテーマに寸劇を作り、地域の民生委員、児童委員の方々約40名に発表した。あたたかい丁寧なアドバイスをいただき、自尊感情を高める有意義な活動になった。このことは認知症を主体的に捉えることだけでなく、地域の方との交流を深めることにもつながった。
- ・ 右下の写真は保健師の方の講話の中で行われた妊婦体験中のものである。重たい、寝たら起き上がりにくいといった感想が出され、妊婦さんに会ったら席を譲りたい、お母さんに感謝したいという思いに発展していた。
- ・ 職場訪問では、様々な立場の人が大牟田のまちで安心して暮らせるためのしくみやネットワークの取り組みについて、幅広く学ぶことができた。



○課題

- ・ 基本的なこととして、挨拶、話を聞くマナー、御礼状の書き方の指導を工夫する必要がある。今後は学んだことをもとに自分の立場を自覚し、社会の一員として地域作りに参画する実践力の育成につなげたい。来年度は職場体験を予定しているが、大牟田の社会を支える様々な仕事に対する考えを深め、自分の将来像を描き、進路決定のための体験として位置づけていくことも必要と思われる。